

仙台市公民館運営審議会議事録

(令和4年3月定例会)

○ 日 時

令和4年3月15日(火) 午前10時00分～11時45分

○ 会 場

仙台市生涯学習支援センター 5階 第1セミナー室

○ 出席者

〔委員〕 相澤雅子委員、安藤歩美委員、伊藤美由紀委員、幾世橋広子委員、
熊谷敬子委員、佐藤正実委員、菅原正和委員、鈴木京子委員、
福士定男委員、牧靖子委員、松田道雄委員、三浦和美委員

〔事務局〕 生涯学習支援センター：センター長 木田、センター次長 千葉、主幹兼事業係長 福本
青葉区中央市民センター：センター長 佐々木
宮城野区中央市民センター：センター長 石川
若林区中央市民センター：センター長 湯村
太白区中央市民センター：センター長 渡部
泉区中央市民センター：センター長 内海
生涯学習課長 田中
地域政策課長 市川
公益財団法人仙台ひと・まち交流財団：市民センター課長 古城

〔傍聴人〕 なし

○ 資 料

次第

資料1：仙台市公民館運営審議会日程(案)

資料2：住民参画型学習事業の概要について

資料3：住民参画型学習事業の推移(平成22年度～令和3年度)

資料4：子ども参画型社会創造支援事業の成果と課題について(事務局まとめ)

資料5：市民センター事業説明書「ぼくらの長町黄援隊！」

資料6：本日の協議の進め方について

1 開 会

(資料の確認)

事務局：本日は、12名の委員の皆様にご出席いただいております。仙台市市民センター条例施行規則第10条第3項の規定により委員の過半数である8名以上の出席を満たしておりますので、有効な会議として成立しておりますことをご報告申し上げます。

2 挨拶

(センター長挨拶)

事務局：ここからの進行は会長をお願いいたします。

会長：この審議会は原則公開になっておりますが、傍聴の希望はございませんか。

事務局：本日はございません。

会長：次に議事録の署名委員です。名簿順で、前は相澤副会長でしたので、今回は安藤委員をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

3 協議

(1) 今後の日程について

- ・事務局から、資料1により今後の審議日程について説明があり、承認された。

(2) 住民参画型学習事業の概要について

- ・事務局から、資料2及び資料3により「住民参画型学習事業」の概要とこれまでの推移について説明された。

(3) 子ども参画型社会創造支援事業について

- ・事務局から、資料4により「子ども参画型社会創造支援事業」の成果と課題について、前期審議会ですとまとめた調査研究報告書に基づいて説明された。
- ・上記事業の具体的な実施事例として、「ぼくらの長町黄援隊！」について、資料5及びスライドにより、担当している太白区中央市民センターから説明があった。
- ・会長から、本日の協議はグループ討議により議論を深めることが提案され、承認された。
- ・上記承認を受け、事務局から、資料6により協議の進め方について説明された後、3つのグループに分かれ、「ぼくらの長町黄援隊！」の良かった点や今後の課題について意見が交わされたほか、「子ども参画型社会創造支援事業」全体の成果と課題についての確認が行われた。討議終了後の議事については以下のとおり。

会長：各グループありがとうございました。全体で情報共有させてください。各グループの担当の方から、どのような話し合いになったか、簡単に説明をお願いいたします。第1グループお願いします。

事務局（第1グループ担当職員）：主に「ぼくらの長町黄援隊！」について、良かったところ、このようにすればもっと良くなるのではないかということを話し合いました。

まず、良いところとして、地域資源を活用しているということが真っ先に挙がりました。地域資源としての89ERSを通して、まず多くの人たちに事業を知ってもらい、89ERSの活動を一緒にすることで、子どもたちが普段できないような活動をすることができる。そこから、子どもたちの目線や視野がどんどん広がっていく事業になっているという意見でした。

さらに発展させる視点としては、一つ目が、89ERSは新しいもので、あすと長町も新しい地域ですが、長町の歴史や古いものと掛け合わせることで、さらに事業が深まるのではないかとことです。また、他の地域団体とさらに連携を深めることで、より事業が深まっていくのではないかとことです。具体的な案として、すでに太白区中央市民センターと西多賀市民センターの「子ども事業」で活用していますが、エフエムたいはく等で情報発信をすることができるのではないかと。長町中学校区の健全育成連合会で、中学生が主体となって小学生と活動しているということですが、そういった団体と関わることでさらに事業を広めていくことができるのではないかと、という視点も出されました。さらに、子どもたちが自ら動く力をいかに育てるかという視点で、子どもたちの意見やアイデアをもっと引き出し、小さなことでいいのでスモールステップを踏ませることにより、自己肯定感を高めていくことができるのではないかと、という意見もありました。

会長：ありがとうございました。第2グループお願いいたします。

事務局（第2グループ担当職員）：第2グループも、大きく良かった点、改善点というように分けて考えました。

良かった点としては、「ぼくらの長町黄援隊！」を応援に終わらない、長町にまた来たいと思ってもらえるような取組みにしようとしている点です。また、「子ども事業」としても、地域の課題に新たな視点を持たせるという意義というのが、今後も大切だろうという、2点が挙げられました。

改善点としては、まだ始まって1年目で、今後どんどん改善していくことができる。子どもたちが主体的に活動できるような場作り、機会作りが必要になってくるだろうということ。第1グループでも出ていましたが、89ERSのみに限らず、長町そのものについて考える機会、長町の良さや歴史といった地域素材についてもっと色々と考える機会があると良いのではないかと。また、参加者を増やすためには、集める段階から各小学校と連携して、より関心を持ってもらうことが必要で、「子ども事業」の投げかけ方、周知・広報の仕方を工夫できると良いのではないかと。さらに、参加者が集まった際にじっくり話し合う場作りも大切で、長町近辺のジュニアリーダーなどとの関わりを深めるとさらに良くなるのではないかとという意見も出ました。

会長：ありがとうございます。第3グループお願いします。

事務局（第3グループ担当職員）：第3グループでは、地域の強みを生かしたプロスポーツとの連携というのが、仙台市の市民センター事業の中で太白区が初めてトライしているもので、非常に良いのではないかと意見が出ていました。地域の企業と連携しているところも非常に良い。花植えの活動の際に、ビブスに企業の名前が入った団体の方たちも参加していて、商店街皆で地域を盛り上げていこうという活動の一つとして良いのではないかと意見も出ていました。また、ボランティア活動など、初めて地域のために何かをするという入り口として、非常に身近で分かりやすいのではないかと意見もありました。

一方、課題としては、他の区でもスポーツチームが所在するところがあるので、同様の展開ができるのではないかと、現時点ではウインウイン（win-win）という関係にまでは至っていないのではないかと意見が出ていました。それに対して、太白区中央市民センター長から、プロスポーツチーム自体がそれぞれのチームで何か地域貢献ができないか模索しており、地域の皆さんの声を届けやす

くなっている。市民センターが意見を出すというところからさらに踏み込んで、子どもたちが地域をこうしたいという意見を届けられるようになっていくと良いのだがという話がありました。

「子ども事業」全体に関わることで、地域の財産はプロスポーツチームだけではなく、それぞれの場所に、古くからあるお店、古くから行っている団体の活動などがあるので、それらを子どもたちに発掘してもらい、マップを作ったりなどして発信するような活動につなげていったりすることもできるのではないかと。また、今回は 89ERS という地域の魅力の中でも比較的新しいものをテーマにしていますが、それに加えてその地域にしかない歴史的なもの等を掛け合わせていけると良いのではないかとという意見もありました。

会長：どうもありがとうございました。全体共有させていただきました。最後に、委員の皆様から、各グループでの深掘りと、今の全体での共有を基にご意見をいただきたいと思います。第1グループからお願いいたします。

副会長：私は、第1グループで事業について皆さんとお話ししましたが、子ども達の未来を見据えた様々な意見が出て良かったと思います。長町には、古くからのお店が色々あるので、そういった特徴を生かしていければ良いのではないかとという意見もありました。ジュニアリーダーについても話題に上り、今回紹介された事業では、小学生の子ども達が活躍しているが、中学生・高校生になっても活動を続けていければ良いという意見も出ました。

委員：子どもたちが、小学校の頃から自分の地域の大人たちと交流することで、自分はこのようにことができるかと将来の選択肢を広げていくことにつながっていく事業になれば良いと思いました。また、この事業では、長町エリアの色々な小学校を入れているということで、それも非常に良いと思いました。私は、高校生に記事を書いてもらい、地域の情報を発信してもらおうというとても意義深い事業に関わっているのですが、特定の学校だけになってしまい、色々な学校を入れないともったいないと常々思っていました。こういった場合は、普段と違う人間関係を作る機会等にもなると思うので、色々な事業でその辺りも意識していただければ良いと思いました。

委員：グループワークでは、色々な情報をいただくなど楽しく過ごしました。今回は、子育てがテーマでしたが、子どもは家庭だけで育てるものではないとしみじみと感じました。自分の子どもだけではなく、未来を見据え、子どもたちがどのように育っていくのが良いか考えながら社会で育てることが必要なのではないかと。「ぼくらの長町黄援隊！」に参加している15人は、本当に貴重な体験をしていると思いますが、もっと多くの子ども達に、参加し体験してもらうにはどうしたら良いのかと考えながら聞いていました。

委員：3グループとも、歴史ということが出ていましたが、おそらくこの歴史というものがこれからは非常に大切になってくるのではないかと思います。今の子どもたちは、タブレット等で何でもすぐに見ることができますが、リアルなもの、現実とは全く違います。人とのつながりも全部そうだと思います。まず、身近な人とうまく関わられるようになって、次に大人と関わり、その次にまちと関わるというように人とのつながりを培って元気な子どもに育ってほしいと思いました。

委員：私は、ここに来て初めて「89ERS」がバスケットボールチームであることを知ったのですが、本当に勉強になりました。子どもたちにも、違う学校の子が集まって、色々なものを作ったり、お話ししたりできる機会をもっと作ってあげたいと思っています。

委員：市民センターの方が、今回説明していただいたようなことを考えてくれていることを、改めて知ることができました。各学校では今、地域の歴史について総合学習の中でとても勉強しています。子どもたちの中には、こんなことを調べて地域で活動してみたいと思う子もいるのですが、予算がなくてできないことが多いのです。事業について各小学校に周知し募集していただくと、地元を大切にしたいという子どもたちがより多く集まってくるのではないかと思います。

委員：「ぼくらの長町黄援隊！」で、89ERS への応援、ファンに終わらず、長町にまた来たいと思うような「おもてなし」をするということとても面白い工夫だと思いました。先日、立町小学校で授業を行った際、「立町小学校は仙台城に一番近い小学校なんだよ。」と教えると、子どもたちは歓声を上げて盛り上がっていました。「おもてなし」というのは、その町の自慢話を見つけることなのではないかと考えると、最初に、自分たちのまちの良さ、自慢できるのは何かということから始めることができれば、子どもたちから良いアイデアが出てくるのではないかと思います。

委員：私は大学で社会科を教えています、その視点から本日のお話を興味深く聞かせていただきました。私は、NHKの「プラタモリ」が大好きなのですが、地域を深掘りして良さに気づき、それが今とつながっている。何年前に仙台も取り上げられて、それを基に私も少し歩いたり、学生に教えたりもしていました。そのような意味で、プロスポーツをきっかけにしながら、地域の良さ、仙台の良さといったものに気付いていくという今回のようなプロジェクトが、複数たくさんできると良いのではないかと思います。

委員：89ERS という素晴らしいスポーツチームが地元にあつてうらやましい、泉区にはベガルタ仙台があつて、と思ひながら、全部自分に当てはめながら聞かせていただきました。自分の地域が好きになる、自慢したい、そして誰かに来てもらつておもてなししたいという気持ちを育むことこそが、郷土愛、自分の地域に対する愛着につながるものであり、そのきっかけは何でも良いのだと思いました。私の地元には、老舗のだるま屋さんがあり、年末にテレビで紹介されていました。あの時のリポーターのお姉さんが学校にお話しに来てくれたといったことでも良いのではないかと思います。派手さはなくても、近所の駄菓子屋さん、和菓子屋さんなど地道な歴史にあたり、一つずつ紐解いていくだけでも、子どもたちの授業としては成り立っていくのではないかと、そういったところが市民センターの強みではないかと思います。

委員：私も、子どもたちにとって、自分が住む地域に好きなものができるということは、とても大切だと思います。地域に好きなものができたら、地域そのものが好きになり、だんだんと自己肯定感が強くなって、自分というものができていけばすばらしいと感じました。

委員：今日は、市民センターの事業の「子ども事業」の関係で長町でのボランティア活動のお話がありましたが、長町もきれいになりました。私の住む地区でも、住宅が増えてお店も増え、にぎやかになり

ましたが、交通量も多くなって、子どもたちの通学といった面からは少々心配な点もあります。私の地区の市民センターでも、子ども関連の事業をはじめ、皆さんが集まって色々な活動をしていると聞いています。今日は、皆さんの意見を聞きながら、本当にすばらしい取組みだと思いました。

会長：委員の皆様、どうもありがとうございました。今日は、「子ども事業」についてこのような形で深掘りさせていただきましたが、進め方としていかがでしたか。会議の前には、事務局と副会長、私とで進め方を確認していますが、もっとこうした方が良かったことがあれば、いつでもご意見をください。事務局の段取りと手間が必要ではありますが、可能な限り毎回の会議にグループワークを組み入れて深掘りする。話し合いの内容はそのまま議事録となり、ホームページで公開になります。今後は会議風景の写真などもホームページに掲載できればと思いますが。

事務局：審議会の写真につきましては、議事録とは別のトピックス的な形になるかとは思いますが、こちらもホームページで紹介していきたいと考えています。

会長：ありがとうございます。私たちは、仙台市民のために会議をしている訳ですから、どのような会議をしているのか興味のある方には、ネット上でも、傍聴に来ていただいても良いのですが、紹介する必要があります。今後は、町内会等の会議を含め色々な会議のあり方をもっとより良くしていくことが求められます。今回、社会教育主事の先生方にいただいたように、会議自体を上手に運営していくことにより地域全体がさらに活性化していくのではないかと思います。事前にいただいた資料で、次回はグループワークでどのような内容について深掘りすれば良いのか頭に入れながら、当日はこのような意見を言っていこうかという好循環になっていくのではないかと思います。

全体の協議としては、これでよろしいでしょうか。それでは事務局にお返しします。

4 その他

事務局から、安藤歩美委員が退任されることが紹介され、同委員から挨拶があった。

以上

会 長

会議録署名委員
